

テーマ：『 緑と暮らそう 』

横浜市立 倉田小学校

Tel. 045-862-3280 担当者： 住田 昌治



●新しい環境教育の狙い つなぐ環境教育 ネットワークでコラボ

新しい環境教育の特徴的な構成要素

自分の力	・子どもの力でできること ・日常的にできること	仲間づくり
長続き	・単発的な取組ではない ・意識に変化をもたらす	
お勧め	・やっぴよかったという実感 ・よさを人に説明できる	



■実践内容： 全校で取り組む環境教育 「大地から 共に輝く 倉田っ子」

- ・子ども環境サミット開催(5年) 「自分たちの力でできる・長続きする・みんなにお勧めできる」
- ・命の授業 2年(野菜を使った命の授業)・6年(命の奇跡)→環境、貧困・募金、命を中心とした接続発展教育へ～環境経営学会とのコラボ、カシオ計算機 若尾さんとの出会い、そして、環境ネットワークへ～
- ・全教室へのグリーンカーテン設置 ・屋上緑化 ・屋上への子どもの手作りビオトープ設置・整備(6年)
- ・田畑での栽培活動 低学年:トマト、キュウリ、サツマイモ-おいもパーティー 中学年:米-餅つき 秋祭り

■実践成果： 環境保全への意志の醸成・意識の高まり

・あわてて活動することなく、児童が進学し、大人になってからの生き方にもつないでいくことを目指している。子どもたちは、体験を通して、自分の課題にしっかり向き合い、じっくり考え、自分の生き方を創ってこうとしている。6年生の子どもたちは、様々な環境学習を通して本気で取り組む大人と出会い、現在社会が抱えている様々なことに対して問題意識を持ち、学びを深めている。・11月7日の「倉田のみり 秋祭り」で、子どもたちは、環境保全の大切さ・自分たちの考えについて、保護者や地域の方々等、また、区内小学校に発信する。さらに、12月10日～12日東京ビックサイトで開催される「エコプロダクツ2009」に全校児童が参加し、小学校では初めて6年生が出展を企画し、倉田小の取組を発信する。今後は、子どもたちの環境保全への思いを実現していくために、区内の小・中・高・大学と連携して取組を拡げていきたいと考えている。

■実践ポイント： 本気・人との出会い・ゴールの設定・仲間作り・自分の力で・長続き・お勧めできる・コラボ力

